

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2015年1月7日

各位

株式会社東京証券取引所

2014年度企業価値向上表彰に係る表彰会社の決定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄教授）の選定結果を受け、2014年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞について

会社名	証券コード	業種	上場市場
オムロン株式会社	6645	電気機器	市場第一部

(2) 優秀賞について

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種	上場市場
TOTO 株式会社	5332	ガラス・土石製品	市場第一部
ピジョン株式会社	7956	その他製品	市場第一部
東京瓦斯株式会社	9531	電気・ガス業	市場第一部

2. 表彰理由について

上場会社表彰選定委員会による表彰会社選定の理由は以下のとおりです。

オムロン株式会社、TOTO 株式会社、ピジョン株式会社及び東京瓦斯株式会社のいずれもが、資本コストを上回る企業価値の創造を行うことを目指した「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

こうした中で、オムロン株式会社（以下「同社」といいます。）は、資本効率を表す経営指標である ROIC（投下資本利益率）を重要指標に位置付けた「ROIC 経営」の推進を掲げ、その実現に向けて組織全体で取り組むなど、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントやその具体例は以下のとおりです。

1. 投資者視点を意識した経営目標を掲げて投資者との対話を深めている

- 企業価値を高めるため、資本効率を表す経営指標（ROIC、ROE）に自社の資本コストを上回る水準の目標値を設定して中期経営計画において公表。
（同社が想定する加重平均資本コスト：6%、ROIC 目標及び ROE 目標：13%程度）
- 企業価値を高める財務戦略として、成長投資優先、安定的継続的配当、機動的自社株買いの3つを柱とする資金配分の基本方針を策定して公表。

2. 経営目標の達成に向けてきめ細かな事業ポートフォリオの管理を実践している

- 自社の事業を 100 近い事業ユニットに細分化し、事業の収益性を表す ROIC と事業の成長性を表す売上高成長率を組み合わせることで事業ユニットの選択と集中を行う「ポートフォリオマネジメント」を実践。

3. 企業価値向上に関する経営管理の仕組みを組織に深く落とし込んでいる

- 全社ベースの ROIC の向上を最終目標に掲げ、それと関連性の高い指標を各事業部門や製品ラインごとに KPI として設定することで、現場も含めた全社的な PDCA サイクルを構築する「ROIC 逆ツリー展開」を導入。

4. 企業価値向上の取組みの成果が現れている

- 「ROIC 逆ツリー展開」と「ポートフォリオマネジメント」を柱とする「ROIC 経営」を掲げて経営改革に取り組んだ結果、かつては赤字であった事業部門が資本コストを上回る利益を獲得する水準まで業績向上を果たすなど、全社的な経営改善が進捗。
- その結果として、同社の過去 3 年間の ROE は上昇傾向にあり（5.2%、8.8%、11.6%）、本年度もさらなる向上が見込まれるなど、近年、着実に企業価値向上の取組みの成果が現れている。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 03-3666-0141（代表）

電話 050-3377-7012（直通）

【参考1】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての審議の観点
1. 経営計画及び経営戦略について －重視する経営目標に、投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。
2. 財務戦略について －株主還元を含めた財務戦略に投資者視点が組み込まれているか。 －事業の投資判断等を行う際の判断基準に、投資者視点が組み込まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について －経営陣が株主や投資者に経営情報を公表することが望ましいという認識・意欲を有しており、実際に公表を行っているか。
4. 企業価値向上経営の推進について －投資者視点を意識した企業価値向上経営の必要性の認識や管理の枠組みが、社内に浸透しているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について －上記1～4の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

【参考2】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、資本コストをはじめとする投資者の視点を深く組み込んで企業価値向上を目指す「企業価値向上経営」を実践している企業を表彰するものです。

本表彰の選定は、3名の有識者等で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議を通じて、下表のプロセスで実施されました。

本表彰の選定方法や選定経過については、東証ホームページや特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2014/>) でご紹介しておりますので、ご参照ください。

<企業価値向上表彰の選定プロセス>

実施時期	選定方法・選定プロセス
2014年6月	●ROEに基づいた定量的な選定 <ul style="list-style-type: none">・東証市場に上場する全上場会社の中から、過去数年間のROEの平均または成長率が良好な企業400社を選抜。
2014年7月 ～8月	●簡易アンケート及び財務数値に基づいた選定 <ul style="list-style-type: none">・上記の方法により選抜した400社について、<ul style="list-style-type: none">▶資本コストに係る認識等を確認する簡易アンケート調査を実施。▶所定の算式により連結財務諸表数値等から資本コスト(WACC)や企業価値創出額等を算定。・これらの結果を踏まえ、50社を選抜。
2014年8月 ～10月	●経営態勢等に関する詳細なアンケートに基づいた定性的な選定 <ul style="list-style-type: none">・上記の方法により選抜した50社に対して、企業価値向上を図るための経営の実践状況を確認する詳細なアンケート調査を実施。・アンケートの回答内容を踏まえ、4社をファイナリストとして選抜。
本日の 発表内容	●表彰会社の決定 <ul style="list-style-type: none">・上場会社表彰選定委員会がファイナリストのトップマネジメントに対してインタビューを実施。併せて投資者から意見を募集。・インタビューの結果等に基づき上場会社表彰選定委員会が審議を行い、オムロン株式会社を大賞とし、TOTO株式会社、ピジョン株式会社及び東京瓦斯株式会社を優秀賞とすることを決定。